

各施策の項目構成

各施策は、次の内容で構成しています。

基本的な考え方

各施策の背景や意義とともに、目指す方向性やあるべき姿など、10年先を見据えたビジョンを記述しています。(特に明記している場合を除き、「三重の教育」を主語に想定した記述としていません。)

現状と課題

子どもたちの現状、子どもたちを取り巻く社会状況、教育行政の現状等に関する問題点・課題など、各施策にかかる現状と課題について記述しています。

今後の基本的な取組方向

「基本的な考え方」を踏まえた、今後5年間における基本的な取組の方向について、数項目に整理して記述しています。(県あるいは県立学校を主語に想定した記述としています。ただし、県がリーダーシップを発揮し、公教育全体で取り組む場合は、市町も主語に含めます。)

主な取組内容

「今後の基本的な取組方向」を踏まえ、今後5年間に実施する具体的な取組の内容を記述しています。(県あるいは県立学校を主語に想定した記述としています。ただし、県がリーダーシップを発揮し、公教育全体で取り組む場合は、市町も主語に含めます。)

数値目標

各施策に掲げる目指す方向性やあるべき姿の実現に向けた、取組の進捗状況を把握するため、施策ごとに代表的な目標指標を1～2項目設定するとともに、現状値および2015年度(平成27年度)の目標数値を示しています。また、各指標には、当該指標の内容説明、およびその数値に目標を設定した理由の説明を付しています。

※注1：2010年度の実績値がまだ判明していないものについては、ビジョン策定時点で判明している数値を示すとともに、その年度を括弧書きで表記しています。

※注2：2016年春(5月末)までに2015年度の実績値が判明しないものについては、その時点で判明している最新の年度の数値を目標値に設定し、その年度を括弧書きで表記しています。

多様な主体への期待

社会全体で教育に取り組むという観点から、「施策」の推進に関し、関係の深い主体(家庭・地域等)へのメッセージを記述しています。